

【 7 月 4 日 海外事情】

- 米マルチモーダル検索 Travel Journal 7 月 4 日号 P.11
- チープフライトのチャット利用 Travel Journal 7 月 4 日号 P.11
- エアビー、新規需要を創造 Travel Journal 7 月 4 日号 P.11
- グループとミーティング販売増加 Travel Journal 7 月 4 日号 P.11

➤ 法人旅行とテクノロジー

新しいテクノロジーのソリューションや、ライドシェアなどの所謂共有経済のモデルが、法人旅行者(出張者)たちに大きな影響を与えている。仕事と個人生活の密接な関係は、出張で稼いだマイレッジやポイントのパーソナルな休暇旅行への使用などで既に数 10 年も前から始まっている。しかし、今日では企業は、かつて存在しなかった広大な世界市場の中で、モバイル機器をどこへでも持ち歩く常時接続した社員たちを管理するという、テクノロジーが動かす新たな時代に直面している。家庭での夕食の後に E メールを送受信したり、通勤途上で電話対応したりしているように、社員たちの個人生活の中に仕事が入り込んで、仕事と個人生活の境界線が分からなくなり始めている。そして、このような傾向は、今や米国の就業者の 80% を構成するミレニアル世代(1980~2000 年生まれ)に極めて顕著に見られる現象だ。彼らは、職場と個人生活の両方に共通したテクノロジーを使用したがつている。家庭でいつも使用しているデバイスを職場でも使用したり(BYOD=Bring Your Own Device)、出張手配と個人の休暇旅行計画をいつも使い慣れた同一 OTA サイト で予約したり、マイレッジやポイントを貯めているサプライヤーの直販サイトで予約したがつている。つまり、彼等にとっては「パーソナル」に加えて「コンビニエンス」が最重要なのだ。企業のトラベル・マネジャーは、このテクノロジーが動かす新たなトレンドに対応しなければならなくなっている。(TN 6/7 <https://goo.gl/gGBwMF>)

➤ ライアンの新ルームサービス

欧州最大 LCC ライアン航空が、10 月 1 日から、自社サイトで新たなホテル予約「Ryanair Rooms」プラットフォームを立ち上げる。これにより、09 年から開始していたブッキング・コムとのホテル予約エンジン提供の専属契約は 9 月末で解除されることとなった。Ryanair Rooms はホテル、ホステル、B&B、レンタル、ホームステイのオプションを最低価格で販売する。ライアン航空は、「常時改善」(Always Getting Better)計画の一環で、継続して自社サイトの改善に励んでいる。そして航空旅行のアマゾンを目指す。同航空は、新サービスを動かすパート

ナーを募集している。入札希望ベンダーには RFP(発注依頼書)を発行する。ブッキング・コムに対しても入札を求められるだろう。(TN 6/9 <https://goo.gl/qMQW45>)

➤ IBM ワトソン利用ホテル検索

旅行テクノロジー・プロバイダー Zumata(シンガポール)が、IBM ワトソンの認識テクノロジー(cognitive technology)を使用して、よりパーソナライズした回答を引き出すことができるホテル検索プラットフォームを立ち上げる。具体的には、「オペラハウスが展望できる、屋内プールと無料 Wi-Fi が利用可能なシドニーの豪華ホテル」という問いに対して、ホテルからの景観とアメニティーと SNS のレビューを見せて回答する。Zumata では、検索回答件数の増加に伴い、累積された回答結果をディープラーニングによって自ら学習し、より精度の高い回答を準備することができるようになる。Zumata は、旅行者の気ままな幅広い要求に応えるために、大きな在庫を保有してパーソナライズされた最適な回答を瞬時に提供できるサイトが競争優位に立つだろうと言っている。(TN 6/10 <https://goo.gl/C2V3vH>)

➤ ユーザ、単一統合アプリ要求

プライスライン・グループの調査によると、アメリカ人旅行者の 54%が旅行計画から予約発券まで全てをカバーする単一のアプリを望んでいることが判明した。その他の興味深い調査結果は次の通りである。

- ✓ 10 人中 4 人が、旅行の選択時にアドバイスしてくれるバーチャル・アシスタントを欲しがっている。
- ✓ 61%が今後 10 年以内に紙に印刷した旅行書類を持ち歩くことを止める。
- ✓ 59%が、モバイルのアクセスと Wi-Fi 接続が無い目的地は選択しない。
- ✓ 50%が、テクノロジーに依存するので、人に道順を尋ねるのを止める。
- ✓ ミレニアルのほとんど 50%が、VR ヘッドセットを使って事前に旅行目的地を調査する。
- ✓ 72%が(ミレニアルでは 90%が)目的地におけるアクティビティーと周遊旅行をモバイル購入する。

(TN 6/13 <https://goo.gl/RUIDbN>)

➤ 中国ディディに、更に 6 億ドル

中国配車アプリの滴滴出行(Didi Chuxing)が、中国最大の国営生命保険会社中国人寿保険(China Life)から 6 億ドルの出資を受けた。滴滴には、つい数週間前にアップルが 10 億ドルを出資したばかり。滴滴は 1500 万人の運転手を抱えており、中国人寿保険はそれらの運転手に対する保険販売にも照準を当てているようだ。滴滴は、米リフトと提携して世界「ライ

ド・エブリウエア」のアライアンスを組織、ライバルのウーバーに対抗する。そのウーバーは、6月1日、サウジアラビア政府から35億ドルの出資を受けた。ソブリン・ウエルス・ファンド、大手保険会社、テック企業たちが、配車アプリのユニコーン投資で一攫千金を狙って、自動車メーカーやインターネット・サービス・プロバイダーも参加している既存の投資コミュニティと競っている。(TN 6/14 <https://goo.gl/38DyKV>)

非上場企業のウーバーと滴滴が資金調達レースを繰り広げている。滴滴は、累計100億ドルを調達し、ウーバーは累計133億ドルを調達した模様である。企業価値は滴滴が250億ドル以上、ウーバーが620億ドル以上。両社は依然として利益計上できていない。当面の間、上場による資金調達の必要性を感じていない。非上場企業ゆえに、財務状況の開示が不足している。(TN 6/15 <https://goo.gl/QKy1EH>)

➤ グーグルの旅行関連テック

グーグルの開発者向けイベント I/O 2016 に於ける旅行に関連する主だったテクノロジー開発を紹介する。

Google Home

この音声認識パーソナル・アシスタントは、アマゾンのエコー(Alexa)に対抗する。「Hey-Google」と呼びかけて、航空便スケジュールの確認や、レストラン予約の変更や、予定している旅先の天気や見所を聞き出すことができる。実際の利用状況は、ユーチューブ <https://www.youtube.com/watch?v=P057ydIzbtY> で紹介されている。

Assistant

人工頭脳を使ってユーザとグーグルの間の双方向の会話を可能にする。劇場チケット購入やレストランを予約することもできる。Assistant は、現時点では Google Home のバックエンドの人工頭脳として機能するが、今後は幅広く他のツールにも活用されて行くだらう。

Allo

これは、本質的にはメッセージング・アプリ。何も目新しいものでも何でもなし。フェイスブックの・メッセンジャー、スナップチャット、ワッツアップのメッセージング御三家とは比べものにもならない。しかし、Allo が今年後半に人工頭脳の Assistant と結合され、その API が公開されれば、Allo 人気も高まり旅行業界にも強力にアピールすることになるだろう。

Instant Apps

煩わしいアプリのダウンロード操作を無くすのが Instant Apps だ。例えば、航空会社のモバイル搭乗券を得るために、アプリの全てをダウンロードする必要がなくなる。指定された URL をクリックすると、モバイル搭乗券に必要なアプリの一部分だけがその場で自動的にロードされる仕組み。旅行の決済(クレジットカードスキャン、アップルペイ、アンドロイドペイ)、チェッ

クイン(パスポートスキャン)、予約(プロフィールの記録、アカウント自動登録)などの旅行プロセスで威力を発揮するだろう。

Daydream

ボール紙のバーチャル・リアリティー(Cardboard)を進化させたのが Daydream だ。フェイスブック、サムスン、オキュラスの VR ツールに対抗する。旅行パッケージ販売では、VR が「お試し買い」を可能にする。旅行ガイドブックの形態もこれで大きく変化するだろう。音声検索、人工頭脳、VRを含む電子アシスタントなどのより洗練されたテクノロジーの開発のおかげで、パーソナライズされた最適な旅行商品の提供が可能になる。(TN 6/15 <https://goo.gl/FUFniD>)

➤ **SFO=SIN 超長距離便**

シンガポール航空(SQ)が、10月23日から、SFO=SIN 超長距離直航便(毎日便)を開設する。使用機材はA350-900でビジネス+プレエコ+エコノミーの3クラス253席仕様。SFO=SIN線は約13500キロで世界第3位の超長距離路線。SQは、この路線開設で、SFO=SEL=SIN線をLAX=SEL=SIN線毎日便に振り替える。この発表は、ユナイテッド航空(UA)のSFO=SIN線毎日便開設の2週間後に発表された。同じスターアライアンスメンバーのSQとUAは、この直航便のコードシェア協定を計画している。SQは、2018年に、A350-900URLx7機の受領後に、世界最長商業便路線のJFK/EWR=SIN線(約15200キロ、飛行時間19時間)の開設を計画している。ちなみに世界第2位の超長距離線はカタール航空のDXB=PFN(パナマシティ)の約13800キロ。(TW 6/15 <http://goo.gl/ZyTXRt>)

+++++ +++++ +++++